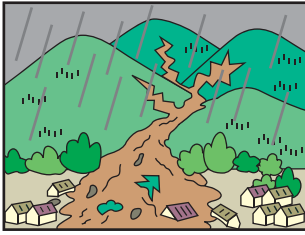


平常時 「ぎふ山と川の危険箇所マップ」で自宅周辺の危険箇所を調べよう!

山の危険箇所

土砂災害警戒区域とは

土砂災害のおそれがある区域です

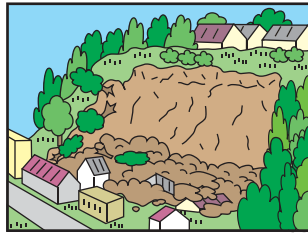


土石流

山の土砂が、長雨や集中豪雨などによって、一気に下流へと押し流されます。

がけ崩れ

地中に水分を多く含んだ状態で、豪雨や地震が発生すると、急激に斜面が崩れ落ちます。



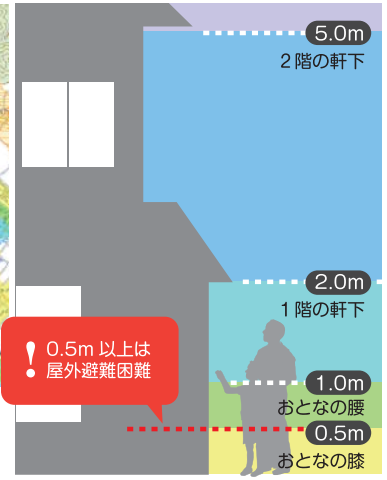
川の危険箇所

浸水想定区域とは

河川が氾濫した場合に浸水するおそれがある区域です



浸水区域内の水の深さを色分けて示しています。



家のまわりを確認しよう

家の前の排水溝が詰まってないか、風で吹き飛ばされる物がなにか、その他に危険なところがないか、確認しておきましょう。



避難路を決めておこう

避難場所までの経路は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。



降雨時 的確に情報を入手しよう!

注意すべき情報

- 防災気象情報(大雨・洪水注意報、警報)
- 降雨量や身近な川の水位の情報
- 土砂災害警戒情報
- 前兆現象
- 避難情報(避難勧告・避難指示)

情報の入手先

- テレビやラジオ、インターネット
- 気象庁や岐阜地方気象台のHP
- 川の防災情報(岐阜県河川課HP)※
- 土砂災害警戒情報ポータル(岐阜県砂防課HP)※
- 市町村のHP、防災無線



気象情報をかたん入手～ぎふ川と道のアラームメール～※

集中豪雨や川が増水した時に、自動的に危険情報をメールでお知らせします。



※危険箇所マップのHPからも確認できます

もしもの時は 早めの避難をころがけよう!

- 避難情報がなくても、周囲の状況から危険を感じた場合は、**早めに自主避難**を行きましょう。
- 要援護者の避難が夜間になりそうな場合は、**日没前に避難を完了**できるよう支援しましょう。

万一、避難に遅れてしまった場合には・・・

災害の規模にもよりますが、建物の2階に避難することで助かることもありますので、自宅等の2階以上に緊急避難してください。

